

■ 信州産りんごの受難が続く ■

今年は春から暖かな気候が続き、ながの農協の資料によると、りんごなどの農産物の生育は 10 日から 2 週間程早くなっています。果物の開花が早くなったところに 4 月 9、10 日と 25 日に遅霜が発生し、結実不良など、りんごをはじめ農産物に大きな凍霜被害がでました（県農政部の速報値による被害総額は 4 億 5 千万円）。また、りんごの着色や成熟には適度な寒暖差が必要ですが、今年の夏から秋にかけても高温が続き、りんごの着色や成熟がすすまらずに“青み果”など品質の悪いものが多くでました。ここでも地球温暖化の影響（被害）がでています。 —— 中澤 博道

■ 霧ヶ峰のレンゲツツジ ■

霧ヶ峰のレンゲツツジをみにいきました。強清水から車山肩の付近が見頃できれいな朱色の花をつけていました。散策路の周辺では大きなカメラを携えた人達が、北の穂高連峰を遠望したレンゲツツジをカメラに収めていました。車山肩から車山湿原に下りるとコバイケイソウが白い花をつけ群落を成していましたが、その周囲のレンゲツツジが枯れて寂しくたずみ、自然保護センターの方にその様子を尋ねると、降雪で新芽が育たなかったとの事でした。季節の移ろいであって欲しいとも感じました。

*霧ヶ峰のレンゲツツジ・車山高原のコバイケイソウの写真は表紙をご覧ください。 —— 樋口 嘉一

<発行>

長野県地球温暖化防止活動推進員有志

赤尾 興一 有賀 宏道 宇野 親治 太谷 優子 佐藤 重 島川 清一 中澤 博道 中野 昭彦
樋口 嘉一 細田 恵莉 壬生 善夫 宮澤 信 宮原 則子 本木 修一 山岸 恒夫 (50 音順)

2020 年 7 月 初版 / 2023 年 7 月 4 版



表紙 * COOL CHOICE (クールチョイス)

脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買い換え」「サービスの利用」「ライフスタイルの選択」など、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

環境省 HP (<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/index.html>)

